

生 体 計 測

—身体各部寸法について (8)—*

妊産婦 (1)

藤 田 光 子 ・ 和 田 みどり

(昭和46年12月6日受理)

Body Measurement

Measurements of Parts of the Body (8)

—Pregnant and Nursing Women (1)—

By Mitsuko FUJITA and Midori WADA

Abstract

During the period between September, 1970 and July, 1971, we took measurement of 220 pregnant women and nursing mothers (the total number of subjects, 571) for the purpose of obtaining basic data for the sizing of pregnant and nursing women's clothes. 54 parts of each body were measured with the Silhouetter and the data were arranged on the 20 items which have close relation to pregnancy. We studied the measurements of parts of the bodies of pregnant and nursing women, the increase and decrease of the measurements, the ratio and the correlation of length, width, weight etc. to height. Here is a brief summary of the results.

1. Pregnant women show a remarkable increase in abdominal extension height (front), total crotch length, abdominal slope, weight, girth length and thickness.

2. A remarkable increase in general can be seen between the 5th and 6th month and 8th and 9th month of pregnancy.

3. The increase of girth length is mainly due to the increase of thickness rather than of width. The increase of thickness is more remarkable in the front part than in the back part.

4. Classification by stature reveals that shorter women suffer a greater change of body type than taller women.

5. After childbirth, the degree to which parts of the body are reduced to the conditions before pregnancy is greater in length, thickness and abdominal slope, and smaller in girth length, width and weight.

(Received December 6, 1971)

緒 言

被服を構成するためには、それを着用する人の身体各部寸法・体型などを正しく把握する必要がある。そこで、それらの基礎資料を得ることを目的として、幼児から成人にいたる男

* この研究は著者たちと広島文化女子短期大学助教授谷山和美との共同研究である。

女の計測を行ない検討してきた。

今回は、体型の変化が大である妊産婦を対象とし、昭和45年9月から46年7月の間に妊娠3カ月から10カ月、産後1カ月の妊産婦220例(妊571例)を自動体型撮影装置(シルエッター)を用いて撮影し、そのシルエットの53部位を採寸、あわせて7部位を実測した。そのうちから、特に妊娠に関係のある20項目の測定値およびその変化量、身長に対する示数值、相関関係などについて検討したので報告する。

Ⅰ 測定対象

被測定者は、広島大学付属病院産婦人科外来の健康な妊産婦220例(妊571例)である。その年令別例数・百分率は第1表のとおりで、20～30才代の者が最も多く85%をしめている。また、妊娠月別延例数は第2表に示すとおりである。

第1表 被測定者の年令別例数・百分率

	年 令					計
	18～20	21～25	26～30	31～35	36～40	
例 数	2	79	108	27	4	220
%	0.9	35.9	49.1	12.3	1.8	100.0

第2表 被測定者の妊娠月別延例数

	月 別									計
	3	4	5	6	7	8	9	10	産 後	
例 数	20	52	50	63	64	75	100	96	51	571

被測定者の初・経産別調査は第3表のとおりで、初産婦は約48%、経産婦は約52%である。なお、経産の内訳は第2子出産が約81%、第3子出産が約16%となっている。

第3表 被測定者の初・経産別調査

	初・経産別			経産内訳				計
	初産	経産	計	第2子出産	第3子出産	第4子出産	第5子出産	
例 数	105	115	220	93	18	3	1	115
%	47.7	52.3	100.0	80.8	15.7	2.6	0.9	100.0

被測定者の生活環境を概観すると、殆んどの者が広島市内またはその近郊に在住し、家庭

の職業は第4表に示すように給料生活者が大半をしめ、約83%となっている。また、被測定者が職業をもっているのは約19%で、その殆んどが会社員である。

第4表 被測定者の家庭・本人の職業別調査 (%)

職 業	家 庭	本 人
公 務 員 ・ 会 社 員	82.8	11.8
商 ・ 工 ・ 自 由 業	15.4	3.2
農 ・ 漁 業	0.9	0.5
無 職	0.0	80.9
そ の 他	0.9	3.6
計	100.0	100.0

II 撮影および測定期

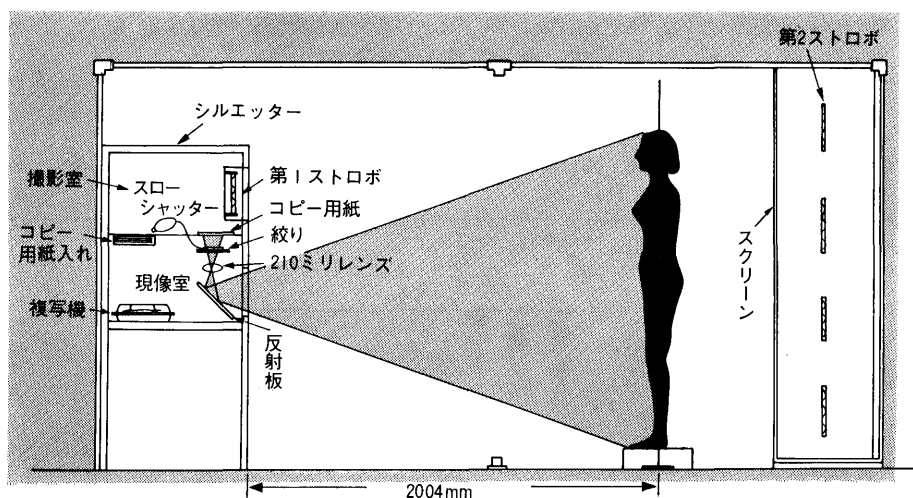
シルエット撮影および各部位の測定は、昭和45年9月から46年7月までの間に行なった。

III 撮影方法

撮影には自動体型撮影装置（シルエットター）を用い、撮影にあたって被測定者は下ばきと薄手の合成繊維のスリッパを着用し、その上から胴囲に計測用ベルトをしめた。

次に第7頸椎点・両肩先点・両頸付根点・臍点などの採寸に必要な部位に、あらかじめ黒ビニールテープを貼布して位置づけし、第1図のように立位正常姿勢で正面と右側面の撮影を行なった。

第1図 シルエットターと被写体の位置



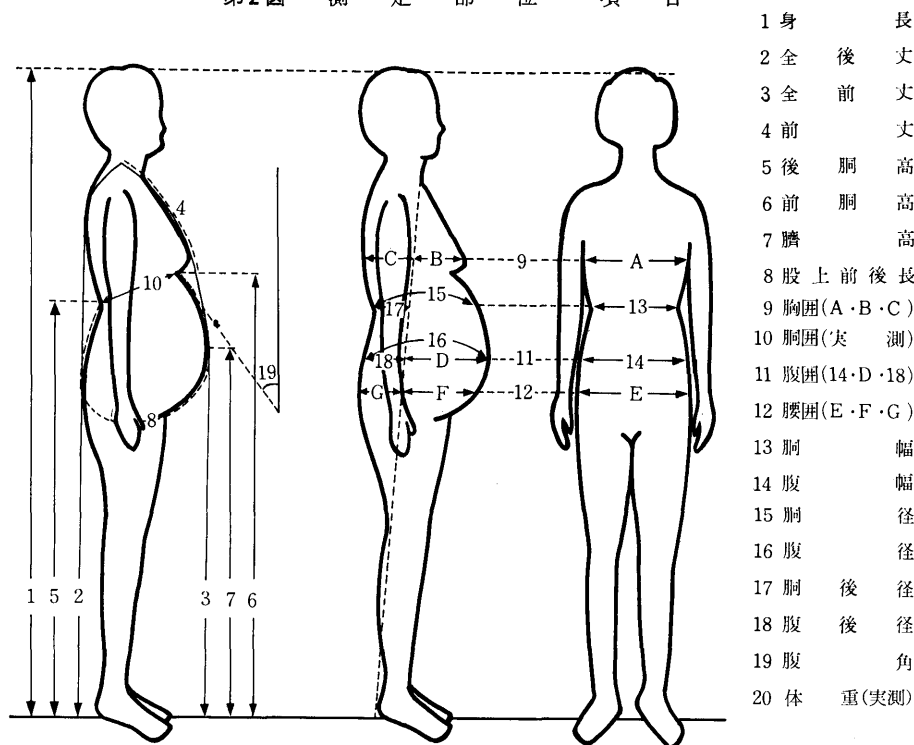
IV 測定部位・測定方法

測定は第5表・第2図に示すように、長径・幅径・厚径項目は指定の部位間を金属製直尺で、また、股上前後長はキルビメーターを用いて採寸し、それぞれの値を10倍した。周径項目は指定された部位間の幅と厚さを採寸し、速算表により算出、腹角は分度器を用いて測定した。なお、胴囲・体重は実測値を用いた。

第5表 測定方法

測定番号	測定部位	シルエット	測定方法
1	身長	右側面	床面から頭頂点までの直線距離を測り10倍する
2	全後丈	〃	右頸付根点から後床面までを第2図を参照して測り 〃
3	全前丈	〃	右頸付根点から前床面までを第2図を参照して測り 〃
4	前丈	〃	右頸付根点から前胴高までの長さを測り10倍する
5	後胴高	〃	床面から後胴囲線までの直線距離を測り 〃
6	前胴高	〃	床面から前胴囲線までの直線距離を測り 〃
7	臍高	〃	床面から臍の位置までの直線距離を測り 〃
8	股上前後長	〃	後胴高から前胴高までの股上前後の長さを第2図を参照して測り 〃
9	胸囲	正・右側面	胸囲線（乳頭位）において幅（A）と厚さ（B・C）を測り、速算表より算出する
10	胴囲	（実測）	上部胴囲線（妊娠初期は水平位であるが月数が進むにつれ前胴囲線が上る）における周径を測る
11	腹囲	正・右側面	腹囲線において幅（14）と厚さ（D・18）を測り速算表より算出する
12	腰囲	〃	腰囲線において幅（E）と厚さ（F・G）を測り 〃
13	胴幅	正面	水平位胴囲線の正面における直線距離を測り10倍する
14	腹幅	〃	腹囲線の正面における直線距離を測り 〃
15	胴径	右側面	水平位胴囲線の側面における直線距離を測り10倍する
16	腹径	〃	腹囲線の側面における直線距離を測り 〃
17	胴後径	〃	第2図を参照して測り 〃
18	腹後径	〃	〃
19	腹角	〃	第2図を参照して測る
20	体重	（実測）	

第2図 測 定 部 位 ・ 項 目



V 測定結果および考察

第6表は、妊娠3カ月から10カ月と産後1カ月の妊産婦の身体各部寸法平均値・標準偏差・相隣る月間の有意性の検定結果、第3—1.2.3図は、平均値を長径、周・幅・厚径、腹角・体重の項目別に図示したものである。また、第4図は7項目の各月間の増減寸法、第7表は、それらの4~10カ月・10カ月から産後の増減寸法(率)および復元率、第5図は、4カ月の身体各部寸法平均値に対する各月の比率である。

これらにより、妊娠4カ月から10カ月・産後1カ月の妊産婦の身体各部寸法平均値およびその増減の傾向をみると次のとおりである。

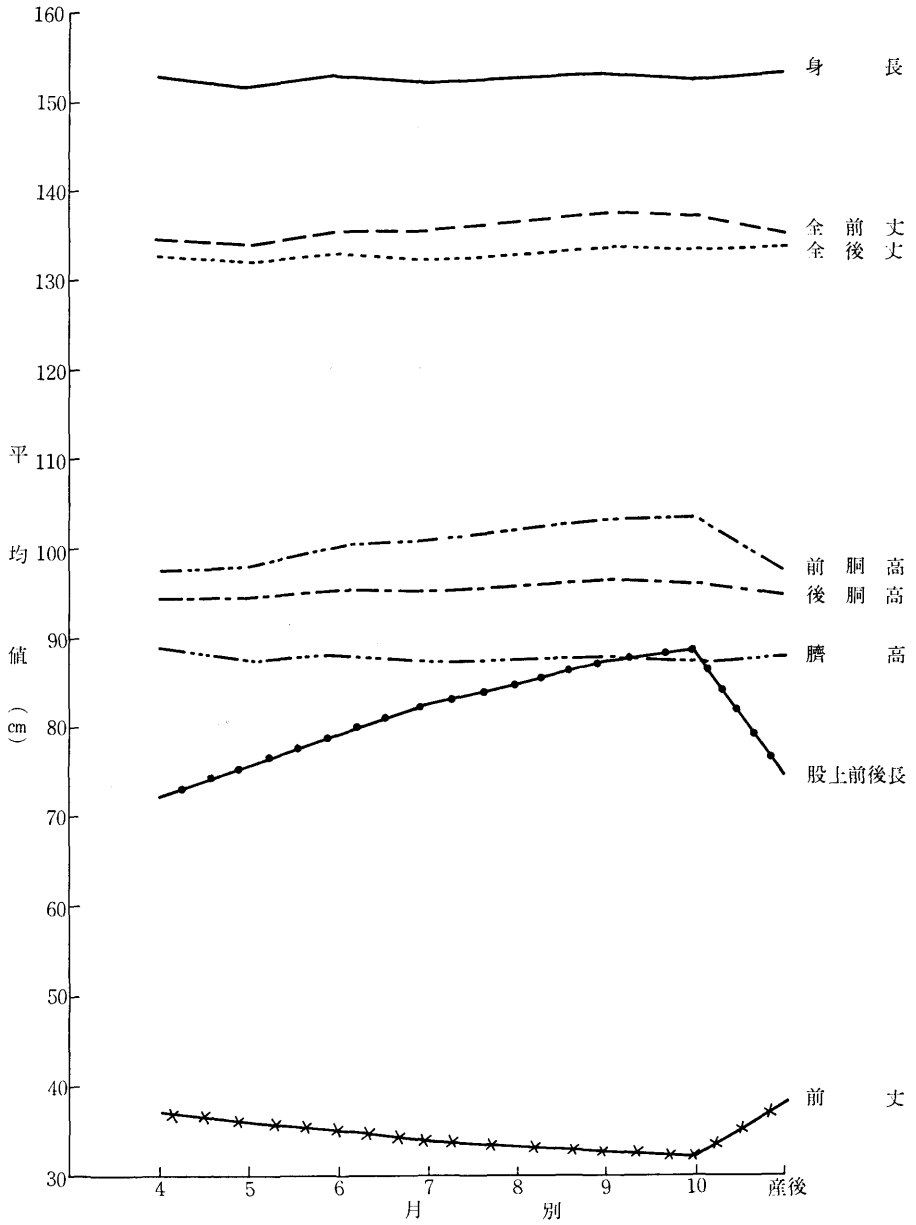
なお、3カ月値は例数が少ないため、月別の比較のときは除く。

第6表 身体各部分寸法平均値・標準偏差(3ヵ月～産後)

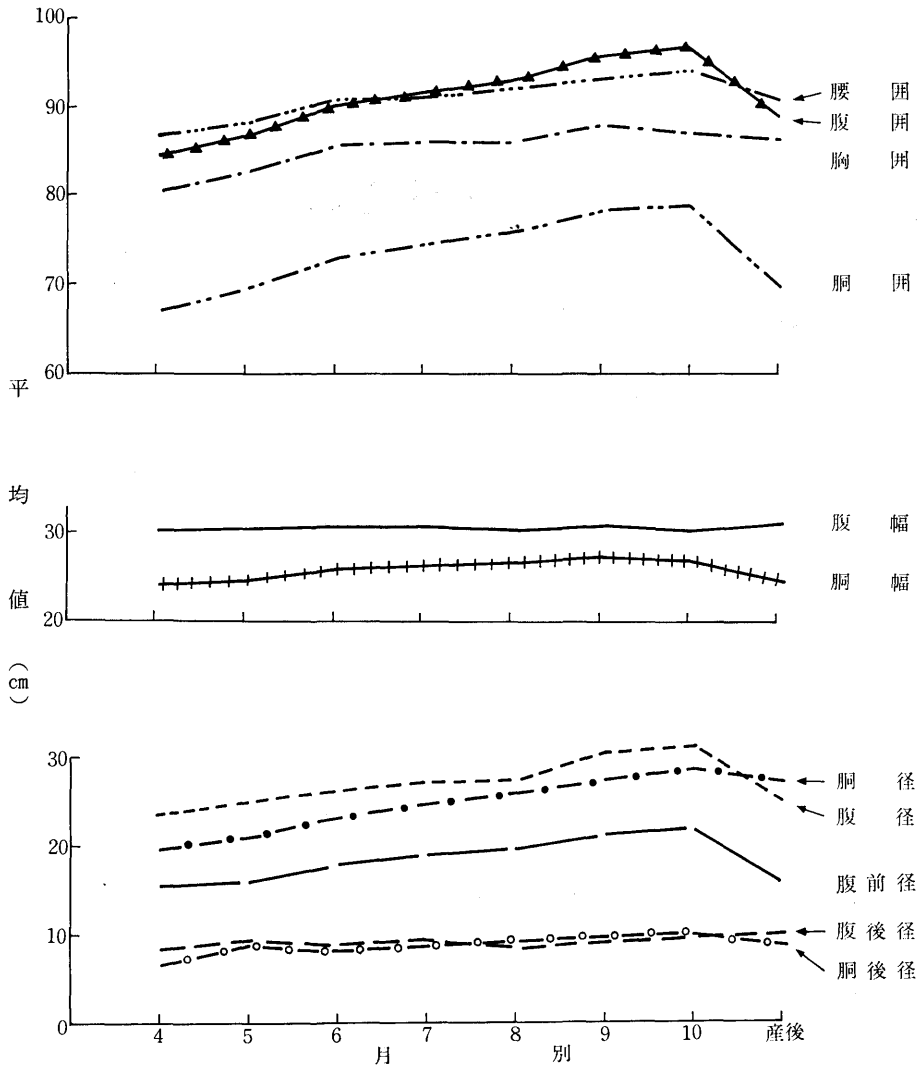
項 目	月 別												産 後																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	3			4			5			6			7			8			9			10			M	SD																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	M	S	D	M	S	D	M	S	D	M	S	D	M	S	D	M	S	D	M	S	D	M	S	D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
1 身長	154.18	4.53	153.26	4.99	152.51	5.05	153.47	4.38	152.86	4.43	153.52	4.36	153.97	4.92	153.47	5.33	154.39	4.64	153.75	4.27	133.14	4.75	132.65	5.39	133.55	4.37	133.81	4.41	134.58	5.02	134.01	5.09	134.64	4.24	135.58	4.24	135.06	4.73	134.57	5.05	136.12	4.18	136.23	4.16	137.15	4.20	138.34	4.84	138.18	4.90	136.14*	4.05	38.38	2.32	37.28	2.41	36.22*	2.52	35.24*	2.16	34.31*	2.29	33.64	2.02	33.36	2.24	32.64*	2.11	38.38**	1.93	95.33	3.28	94.88	4.20	94.89	4.15	95.82	3.33	95.80	3.68	96.43	3.48	97.00	3.93	96.76	4.00	95.39*	3.39	97.38	3.70	97.77	3.99	98.38	4.19	100.60**	3.72	101.34	3.76	102.83*	3.23	103.99*	3.75	104.15	4.05	98.22**	3.55	88.98	3.84	89.01	4.03	87.99	4.28	88.73	3.75	87.95	3.59	88.33	3.37	88.44	4.22	88.02	4.21	88.83	3.59	70.73	5.95	72.57	5.48	76.39**	4.73	79.89**	4.08	83.18**	4.13	85.23**	4.22	87.67**	4.63	89.32	*5.02	81.56	5.73	80.48	5.23	82.81*	5.84	85.17*	4.57	86.03	5.57	86.37	5.52	87.94	5.51	87.41	5.38	86.38	5.39	65.84	5.55	66.76	4.94	69.26*	5.42	72.52**	4.57	74.72*	5.04	76.01	5.11	78.03*	5.29	78.99	5.32	70.62**	4.72	84.76	5.58	84.60	5.32	86.73	6.55	90.06**	5.10	91.78	5.40	92.73	5.24	95.98**	6.04	96.65	5.78	89.13**	5.36	87.67	5.21	86.89	5.07	88.14	5.10	90.86**	4.89	91.51	4.41	92.60	4.87	93.91	5.12	94.42	5.07	91.20**	4.05	24.38	1.99	24.33	1.69	24.97	2.53	26.05**	1.69	26.77*	1.81	27.26	1.90	27.95*	1.87	27.91	1.86	30.98	1.79	30.35	2.00	30.45	2.22	30.96	1.64	30.95	1.83	30.95	1.71	31.37	1.92	31.05	1.78	31.78*	1.90	18.43	2.26	19.49	2.08	20.88**	2.16	22.65**	1.94	24.14**	2.20	25.11**	2.23	26.68**	2.43	27.60**	2.24	21.05**	1.93	22.50	2.25	23.15	1.79	24.52**	2.26	26.13**	1.97	27.31**	2.01	27.91	2.06	29.62**	2.23	30.30*	2.18	24.48**	2.01	7.43	1.65	7.26	1.82	8.50**	1.89	8.34	1.87	8.80	1.75	8.85	1.78	9.05	1.67	9.39	1.73	8.44**	1.42	8.13	1.55	8.02	1.81	8.83*	1.80	8.73	1.83	8.91	1.74	8.76	1.72	8.92	1.68	8.93	1.71	9.16	1.42	16.00	6.00	15.27	4.60	18.93**	5.58	22.80**	6.20	24.56	6.34	28.45**	6.52	32.71**	6.51	35.83**	6.47	49.40	6.02	48.85	6.46	50.83	7.34	54.07*	5.63	55.52	5.97	56.70	6.16	58.75*	7.03	59.27	6.81	53.65**	5.47

注 各月間増減の有意性の検定 * 危険率 5% 有意 ** 危険率 1% 有意

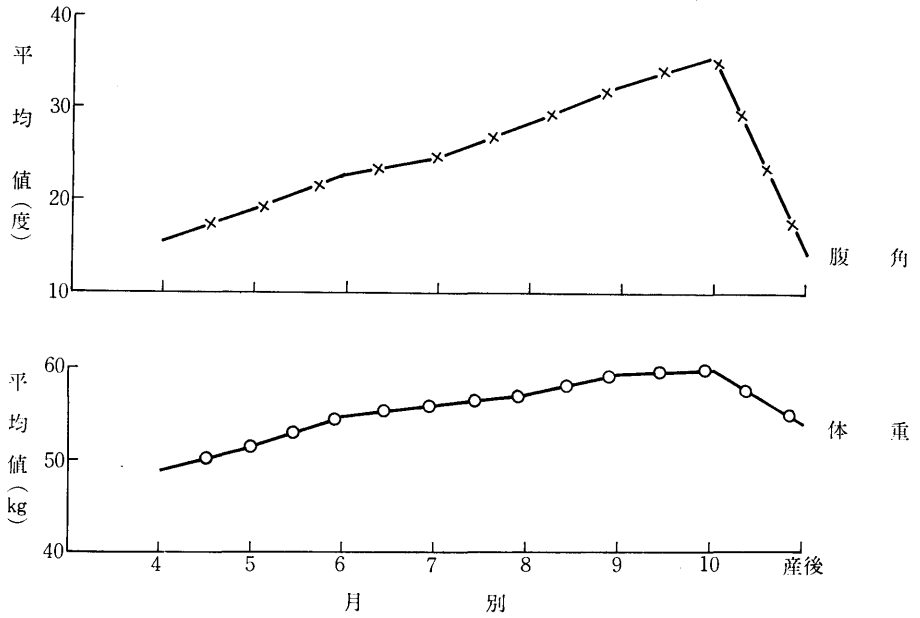
第3-1圖 身体各部寸法平均值(長徑項目)



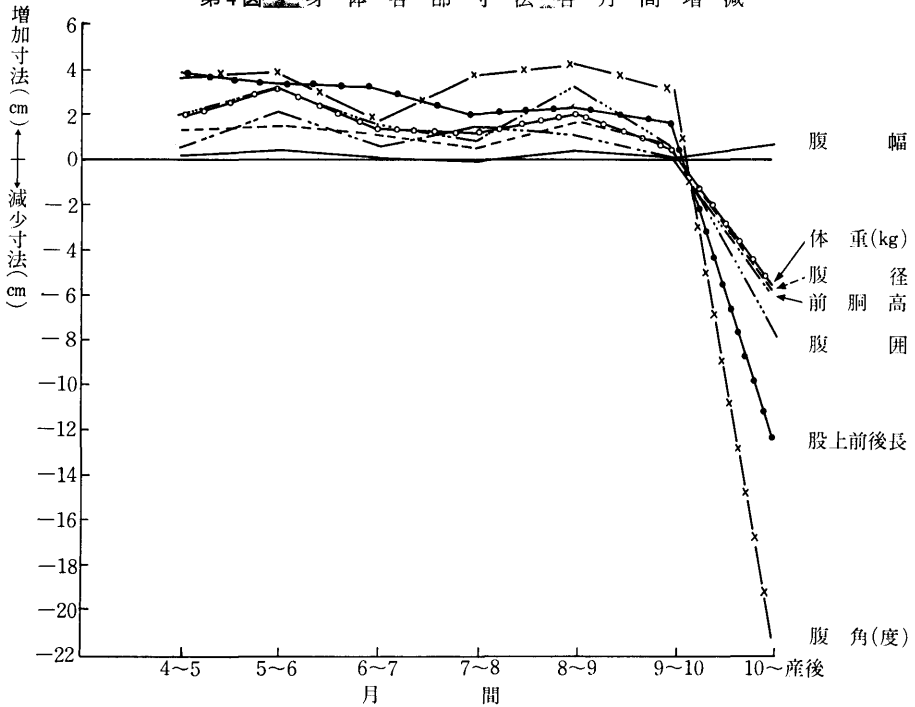
第3-2図 身体各部寸法平均値(周・幅・厚径項目)



第3—3圖 身体各部寸法平均值(腹角・体重)



第4圖 身体各部寸法各月間増減



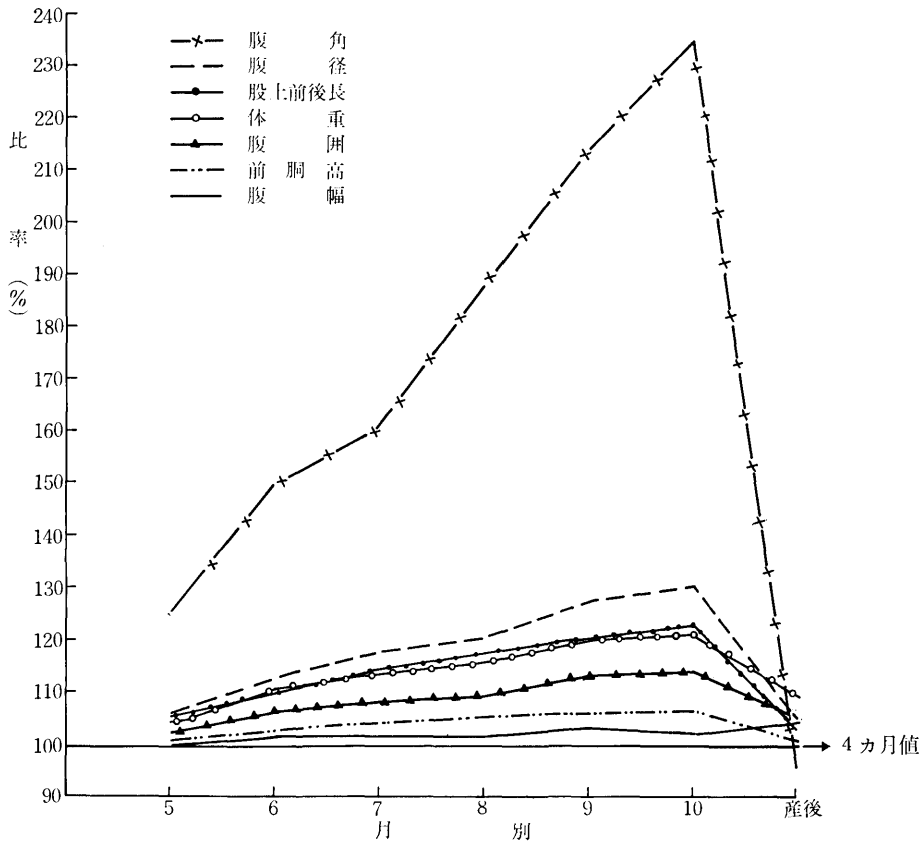
第7表 4～10ヵ月・10ヵ月～産後の身体各部増減寸法(率)・復元率

(cm)

項	目	4～10ヵ月		10ヵ月～産後	
		増加寸法	増加率(%)	増減寸法	復元率(%)
1	前 胸 高	6.38	6.5	-5.93	92.9
2	股 上 前 後 長	16.75	23.1	-14.14	84.4
3	腹 囲	12.05	14.2	-7.52	62.4
4	腹 幅	0.70	2.3	0.73	(104.3)
5	腹 径	7.15	30.9	-5.82	81.4
6	腹 角(度)	20.56	134.6	-21.20	103.1
7	体 重(kg)	10.42	21.3	-5.62	53.9

注 各部寸法平均値による

第5図 4ヵ月身体各部寸法平均値に対する各月の比率(4ヵ月値を100とする)



(1) 平均値

まず、長径項目についてみると、全前丈・前胴高・股上前後長は月数が進むにつれ大となり、産後において小となる。特に股上前後長の増減は著しく、4カ月から10カ月までに約17cm増加、すなわち4カ月値の約23%増となるが、産後は約14cm減少、復元率は約84%となっている。前丈は、月数が進むにつれ減少するが産後は増加し、復元率は約124%（3カ月値に対しては100%）となっている。身長・全後丈・後胴高・臍高は月間に大きな変化はみられない。

周径項目では、いずれの項目も月数が進むにつれ大となる。特に胴囲と腹囲の増加が著しく、共に4カ月から10カ月までに約12cmの増加、すなわち前者は4カ月値の約18%増、後者は約14%増となる。しかし、産後は両者共に減少し、復元率は胴囲約68%、腹囲約62%となっている。

幅径項目では、胴幅の増加が大で、4カ月から10カ月までに約4cmの増加、すなわち4カ月値の約15%増となるが、産後は減少し、復元率は約65%となっている。なお、腹幅の増加はきわめて小である。

厚径項目の胴径・腹径は、月数が進むにつれ大となり、4カ月から10カ月までに前者は約8cm、4カ月値の約42%増、後者は約7cm、4カ月値の約31%増となる。しかし、産後は両者共に減少し、復元率は約81%となっている。なお、厚径項目の増加を後・前径に分けて比較すると、後径の増加は殆んどみられず、したがって厚径の増加は前径の増加によると考えられる。

腹角は、月数が進むにつれ著しく大となり、4カ月から10カ月までに約21度の増加、4カ月値の135%増となるが、産後は103%の復元率を示す。

体重は、月数が進むにつれ漸次大となり、4カ月から10カ月までに約10kgの増加、4カ月値の約21%増となるが、産後は約6kg減少し、復元率は約54%となっている。

次に、相隣る月間の増減の有意性の検定結果についてみると、股上前後長と胴径は各月共、また、前丈・胴囲・腹径・腹角は、殆んど月間が危険率1～5%水準で有意差がみられる。次に、増加する各項目について各月間の増加量を比較すると、殆んど項目が、概して5～6カ月間と8～9カ月間の増加が大で、両者間共、相隣る月間に危険率1～5%水準で有意差がみられる。

(2) 分散分析

第8表は、各測定度間の増減傾向の分散分析の結果である。これによると、身長・全後丈・臍高・腹後径を除く16項目が危険率1～5%水準で有意となっている。

(3) 月別 Mollison の関係偏差折線

第6図は、10カ月値を基準とした Mollison の関係偏差折線である。これにより、4～9カ月の各関係偏差折線が基準線に近づく状態を概観すると、変化の小である項目は、身長・全後丈・臍高・腹後径で、変化の大である項目は、股上前後長・胴径・腹径・腹角などの腹

第8表 各測度間の増減傾向の分散分析(4ヵ月~10ヵ月)

変動因	df	F							
		身長	全後丈	全前丈	前丈	後胴高	前胴高	臍高	股上前後長
妊娠月	6	0.672	1.211	6.915**	36.419**	3.324**	30.081**	0.637	114.885**
群内(誤差)	493								
全体	499								

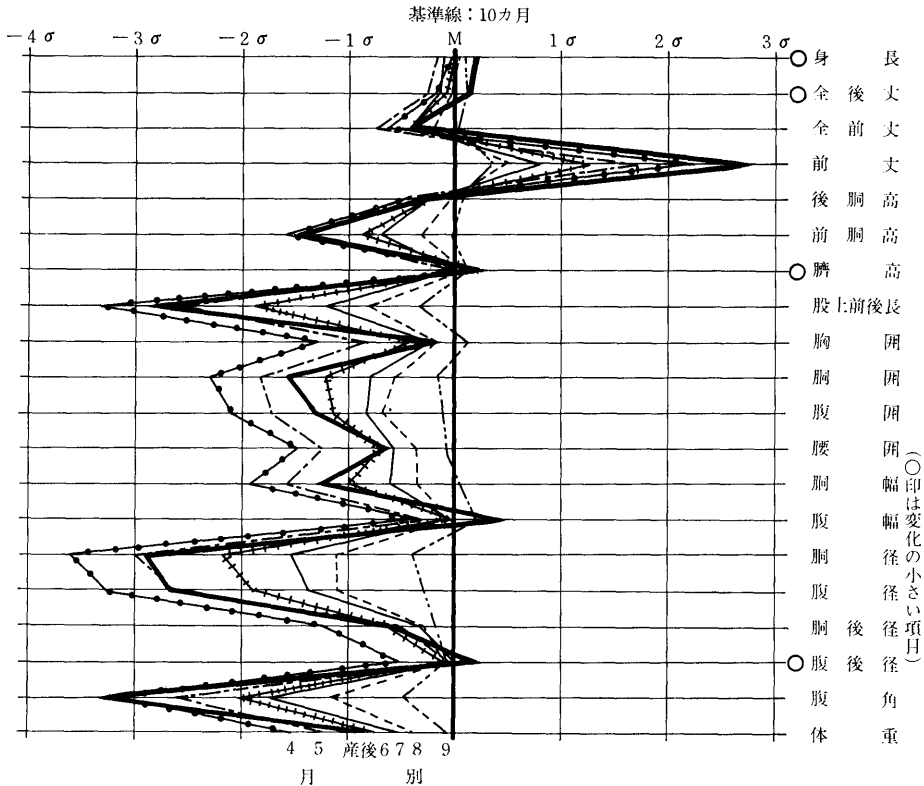
変動因	df	F							
		胸囲	胸囲	腹囲	腰囲	胸幅	腹幅	胴径	腹径
妊娠月	6	15.325**	51.100**	42.299**	21.290**	36.202**	2.407*	122.839**	104.682**
群内(誤差)	493								
全体	499								

変動因	df	F			
		胸後径	腹後径	腹角	体重
妊娠月	6	9.411**	1.957	99.380**	23.487**
群内(誤差)	493				
全体	499				

注 * 危険率5%で有意
** 危険率1%で有意

但し前丈のみ減少傾向

第6図 月別 Mollison の関係偏差折線(4~産後)



部に関係のある項目である。また、それらはいずれも5～6カ月間と8～9カ月間の変化が大となっている。産後の折線は、長径項目と腹角は4カ月時、股上前後長と厚径項目は5カ月時、周径項目は6カ月時の折線にはほぼ接近している。

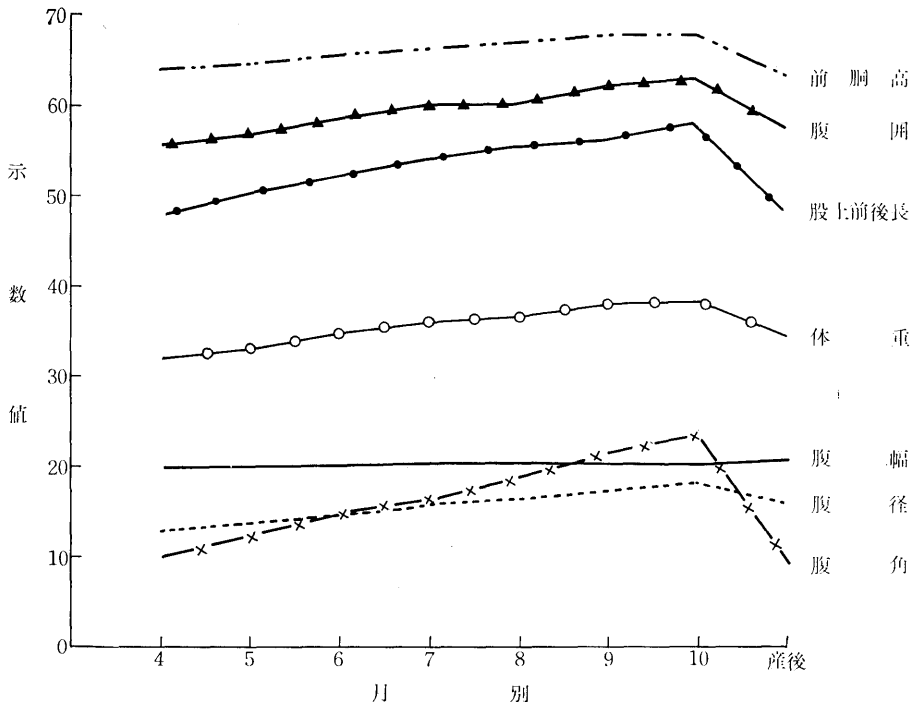
(4) 対身長示数平均値

第9表は、身長に対する各項目の示数平均値・標準偏差・相隣る月間の有意性の検定結果、第7図は、そのうちの7項目の示数平均値を図示したものである。これらにより、各項目の示数平均値の増減をみると、身体各部寸法平均値のそれとほぼ同傾向を示す。変化の最も大である項目は股上前後長で、4カ月では身長約47%であるが、10カ月では約58%となり、11%の増加である。次は、胴囲と腹囲で、前者は4カ月では約44%であるが、10カ月では約52%となり、後者は約55%から約63%となり、共に8%の増加を示す。なお、腹角の示数値の変化も大である。

各示数平均値の標準偏差についてみると、股上前後長・腹角・体重と周径項目はいずれもその偏差が大きく、また月による変異の幅も大である。

次に各月間の増減の有意性の検定結果についてみると、前丈・前胴高・股上前後長・胴囲・腹囲・胴径・腹径・腹角は、殆んどどの月間に危険率1～5%水準で有意差がみられる。

第7図 対 身 長 示 数 平 均 値



第9表 対身長示数平均値・標準偏差(3カ月～産後)

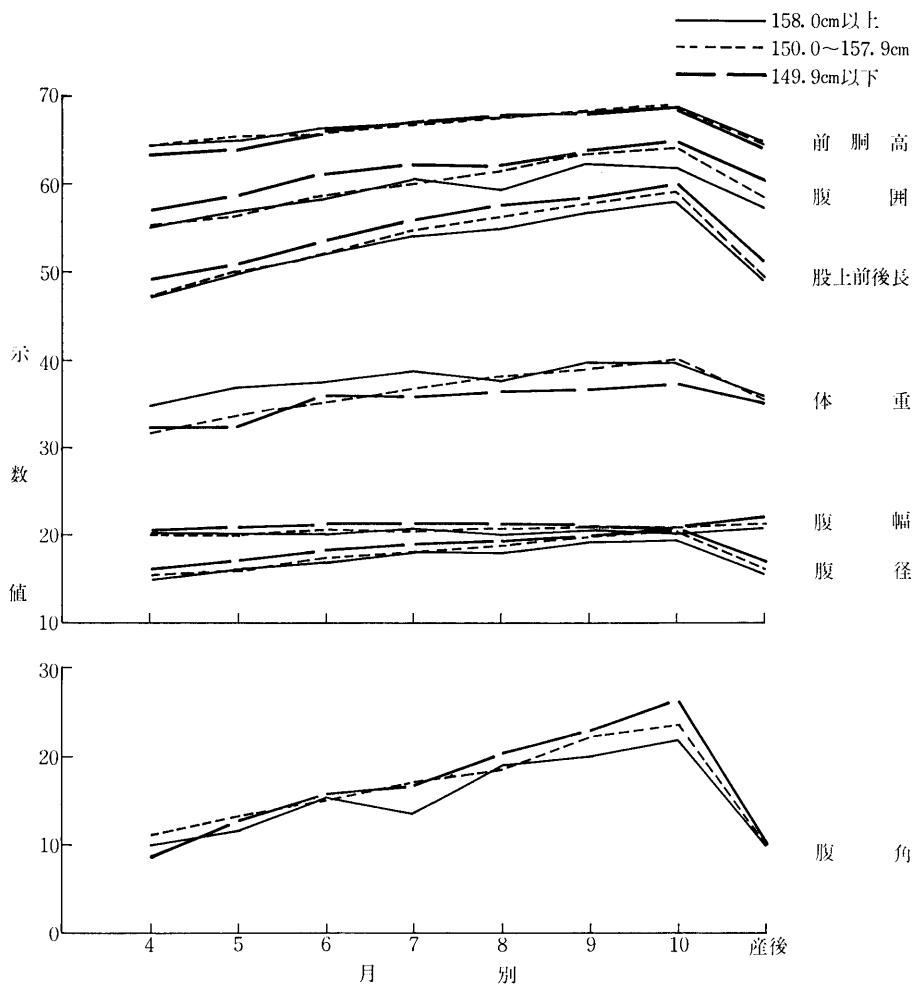
項 目	月 別												産 後					
	3		4		5		6		7		8		9		10		M	SD
	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD				
1 全 後	86.75	1.19	86.87	1.01	86.96	1.09	87.01	1.04	87.20	0.93	87.15	1.03	87.39	1.08	87.31	0.99	87.21	1.03
2 全 前	87.94	0.95	88.12	0.90	88.23	0.80	88.69**0.81	89.12**0.91	89.34	1.07	89.84**1.10	90.04	1.07	88.18**1.06	1.07	88.18**1.06		
3 前 大	24.89	1.35	24.33	1.40	23.75*	1.43	22.96**1.26	22.45*	1.39	21.91*	1.19	21.66	1.25	21.28*	1.31	24.87**1.24		
4 後 胸	61.83	1.18	61.89	1.22	62.20	1.10	62.43	0.90	62.66	0.99	62.81	0.95	62.99	1.14	63.04	0.96	61.78**1.12	
5 前 胸	63.16	1.49	63.79	1.40	64.50*	1.39	65.55**1.23	66.29**1.33	66.93**1.10	67.54**1.07	67.86*	1.16	63.62**1.53					
6 臍 高	57.70	1.59	58.07	1.62	57.68	1.53	57.80	1.23	57.52	1.23	57.53	1.07	57.42	1.54	57.34	1.54	57.53	1.41
7 股 上 前 後 長	45.89	3.80	47.38	3.63	50.10**2.82	52.07**2.62	54.44**2.62	55.54**2.83	55.95**2.86	53.22**3.01	48.71**2.71							
8 胸 囲	52.93	3.77	52.54	3.44	54.32*	3.66	55.52	2.96	56.30	3.58	56.29	3.72	57.14	3.57	57.00	3.77	56.00	3.91
9 胸 囲	42.73	3.73	43.59	3.43	45.43**3.50	47.28**3.14	48.91**3.48	49.55	3.59	50.71*	3.50	51.51	3.62	45.78**3.31				
10 腹 囲	54.98	3.29	55.23	3.49	55.90*	4.32	58.71*	3.42	60.03*	3.70	60.42	3.35	62.35**3.59	63.01	3.63	57.76**3.50		
11 腰 囲	56.88	3.30	55.72	3.25	57.81	3.01	59.23*	3.21	59.90	3.00	60.34	3.03	61.01	3.16	61.55	3.12	59.10**2.69	
12 胸 幅	15.81	1.25	15.88	1.13	16.38	1.69	16.98	1.12	17.52**1.19	17.77	1.28	18.16*	1.18	18.19	1.20	16.53**1.31		
13 腹 幅	20.09	0.99	19.80	1.21	19.98	1.45	20.18	1.09	20.26	1.25	20.17	1.06	20.38	1.12	20.24	1.03	20.59	1.21
14 胸 径	11.96	1.48	12.70	1.38	13.69**1.35	14.73**1.23	15.80**1.46	16.37*	1.54	17.39**1.57	18.00**1.53	13.65**1.35						
15 腹 径	14.59	1.41	15.12	1.27	16.09**1.51	17.04**1.33	17.88**1.35	18.19	1.35	19.24**1.37	19.76**1.41	15.83**1.33						
16 胸 後 径	4.82	1.03	4.73	1.13	5.55**1.15	5.44	1.21	5.76	1.14	5.76	1.15	5.88	1.05	6.11	1.11	5.47**0.95		
17 腹 後 径	5.28	1.02	5.23	1.14	5.78*	1.10	5.69	1.19	5.83	1.14	5.71	1.11	5.79	1.05	5.82	1.03	5.94	0.94
18 腹 角	10.35	3.82	9.95	2.97	12.42**3.65	14.86**4.03	16.09	4.21	18.55**4.28	21.27**4.29	23.39**4.36	9.46**3.53						
19 体 重	32.03	3.71	31.85	3.84	33.27	4.19	35.21**3.34	36.30	3.56	36.91	3.69	38.12*	4.06	38.58	3.87	34.74**3.31		

注 各月間増減の有意性の検定 * 危険率 5% で有意 ** 危険率 1% で有意

(5) 身長区分別対身長示数平均値

第8図は、身長に対する示数平均値のうち、7項目について身長区分別に比較したものである。これによると、体重を除く各項目共、身長の低い者の示数値が大となっている。なお、身長区分は158.0cm以上、150.0～157.9cm、149.9cm以下の3区分とした。

第8図 対身長示数平均値(身長区分別)



(6) 相関係数

第10表は身長に対する各項目の相関係数と、その有意性の検定結果を示したものである。これによると、前丈・股上前後長を除く長径項目は、殆んどが0.8以上の高い相関、また、前丈・体重は、やや高い相関を示し、いずれも危険率1～5%水準で有意性がみられる。

なお、各項目の各月間の相関係数の差の検定を行なった結果、いずれも有意差がみられなかった。

第10表 対身長相関係数(4ヵ月～産後)

項 目	月 別							産 後
	4	5	6	7	8	9	10	
1 全 後 丈	.948**	.964**	.944**	.948**	.939**	.948**	.955**	.929**
2 全 前 丈	.957**	.974**	.955**	.942**	.921**	.937**	.942**	.919**
3 前 丈	.458**	.509**	.437**	.421**	.431**	.509**	.379**	.309*
4 後 胴 高	.917**	.933**	.915**	.929**	.915**	.905**	.937**	.863**
5 前 胴 高	.847**	.868**	.865**	.842**	.854**	.899**	.901**	.737**
6 臍 高	.809**	.860**	.875**	.871**	.885**	.849**	.835**	.802**
7 股上前後長	.199	.418**	.310*	.341**	.243*	.377**	.443**	.273
8 胸 囲	.256	.331*	.275*	.266*	.147	.254*	.141	-.038
9 胴 囲	.101	.254	.126	.103	.024	.195	.170	.027
10 腹 囲	.276*	.225	.211	.169	.285*	.412**	.326**	.243
11 腰 囲	.351*	.450**	.262*	.245	.328**	.381**	.405**	.312*
12 胴 幅	.207	.154	.203	.206	.121	.307**	.259*	.082
13 腹 幅	.402**	.255	.253*	.187	.370**	.444**	.386**	.301*
14 胴 径	.102	.293*	.113	.131	-.046	.176	.084	-.073
15 腹 径	.024	.140	.091	.131	.170	.335**	.249*	.137
16 胴 後 径	.393**	.479**	.080	.133	.119	.199	.223*	-.101
17 腹 後 径	.280*	.373**	.082	.112	.163	.248*	.238*	-.019
18 腹 角	.199	.044	.090	-.088	.039	-.050	-.077	.179
19 体 重	.465**	.604**	.443**	.468**	.435**	.512**	.555**	.369**

注 *危険率 5%で有意 **危険率 1%で有意

結 語

以上の結果を要約すると次のとおりである。

1. 妊婦の身体各部で増加の著しいのは前胴高・股上前後長・腹角・周径および厚径項目などの腹部に関係のある項目と体重で、分散分析の結果いずれも危険率1～5%水準で有意となっている。
2. 増加のみられる項目について各月間の増加を比較すると、概して5～6ヵ月間と8～9ヵ月間の増加が大となっている。
3. 周径項目の増加は幅よりも厚さ方向に大きく、10ヵ月では胴囲・腹囲共に幅径と厚径

がほぼ等しくなる。

4. 厚径項目の増加は後径より前径において著しい。
5. 産後の復元率の高い項目は長径・厚径項目と腹角で、低い項目は周径・幅径項目と体重である。
6. 身長に対する腹部関係項目の10カ月時の示数値をあげると、前胴高は約68%、股上前長は約58%、腹囲は約63%、腹径は約20%である。
7. 身長区分別対身長示数値によると、体重を除く各項目が身長の低い者の示数値が大であり、したがって妊婦の体型変化は身長の高い者より低い者に、より大きくあらわれることが推察される。

今後引き続き、今回報告以外の項目の集計整理をし、検討をすすめる一方、妊産婦の身体各部の測定を継続して行ない、同一人物での妊娠3カ月から産後までの連続計測の資料を得、これらにより妊産婦の身体各部寸法と体型、身体比例などを正しく把握して、信頼できる被服寸法設定と被服構成のための資料に役立てたいと思う。

終りにこの測定に際し、よく協力して下さいました被測定者ならびに広島大学医学部産婦人科の方々に厚く御礼申し上げます。また本研究に対し、終始御懇切なる御指導をいただきました広島大学医学部田淵 昭教授(元)、同じく角谷哲司講師、九州大学山内光哉助教授に深く感謝いたします。

文 献

- 1) 藤田光子他(1970) : 生体計測—身体各部寸法について (7)— 広島女学院大学論集第20集 81
- 2) 日本規格協会(1970) : 日本人の体格調査報告書 26~38
- 3) 体型情報懇談会(1968) : ミセス体型調査報告書 7~11
- 4) 体型情報調査会(1969) : ミセス体型調査報告書 付1・付2
- 5) 田口玄一著(1966) : 統計解析、丸善
- 6) 祐宗省三・山内光哉・西山 啓共著 : 教育心理統計法要、明治図書出版 164~180
- 7) 柳沢澄子・原田藤枝著(1966) : Dress Pattern の基礎と応用、柴田書店 13
- 8) 藤田恒太郎著(1960) : 生体観察、南山堂 29~47